

一般廃棄物・産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (平成 28年 2月度)

対象期間:平成 28年 2月 1日 ~ 平成 28年 2月 29日

埋立廃棄物の種類及び数量[一般:規第4条の5の2 4号イ、産廃:規第12条の7の2 8号イ]

種 類		数量(単位)
一 般 廃 棄 物	焼却灰	3,055.13 (t/月)
	ごみ	761.91 (t/月)
	特定一般廃棄物(焼却灰)	42.36 (t/月)
	特定一般廃棄物(ばいじん)	1,948.92 (t/月)
	一般廃棄物 小計	5,808.32 (t/月)
産 業 廃 棄 物	燃え殻	197.100 (t/月)
	汚泥	135.560 (t/月)
	廃プラスチック	433.960 (t/月)
	廃プラスチック(非飛散性)	(t/月)
	紙くず	(t/月)
	木くず	(t/月)
	繊維くず	(t/月)
	動植物性残さ	(t/月)
	金属くず	4.360 (t/月)
	ガラス陶磁器くず	1,584.250 (t/月)
	ガラス陶磁器くず(非飛散性)	(t/月)
	鋳さい	55.090 (t/月)
	がれき類	170.630 (t/月)
	がれき類(非飛散性)	(t/月)
	動物の死体	(t/月)
	ばいじん	(t/月)
	処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(t/月)
	廃石綿等(特別管理廃棄物)	(t/月)
	特定産業廃棄物(燃え殻)	(t/月)
	特定産業廃棄物(ばいじん)	45.90 (t/月)
産業廃棄物 小計	2,626.85 (t/月)	
合 計	8,435.17 (t/月)	

水質検査の実施状況と措置(月1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

採取場所	地下水等		放流水	
	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水	別紙平面図の通り	
採取日	平成 28年 2月 17日	平成 28年 2月 17日	平成 28年 2月 17日	
分析結果が得られた日	平成 28年 2月 25日	平成 28年 2月 25日	平成 28年 2月 25日	
電気伝導率	91.2 ms/m	126.6 ms/m	/	
塩化物イオン濃度	54.0 ppm	55.0 ppm		
水素イオン濃度				7.96 pH
生物化学的酸素要求量				0.6 ppm
化学的酸素要求量				3.7 ppm
浮遊物質			1未満 ppm	
窒素含有量			9 ppm	
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	/	
必要な措置を講じた日付けとその内容(異常が認められた場合記入すること)				

残余の埋立容量(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号リ、産廃:規第12条の7の2 8号リ]

計測日	残余容量(m <sup>3</sup> )
平成 年 月 日	

施設の点検[一般:規第4条の5の2 4号ロ、ハ、ヘ及びト、産廃:規第12条の7の2 8号ロ、ハ、ヘ及びト]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 28年 2月 29日	平成 28年 2月 29日	平成 28年 2月 29日	平成 28年 2月 29日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置が講じた年月日とその内容(異常が認められた場合のみ記入すること)	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※ 保有水等の導水管、浸出液処理設備の配管の防凍の為の対策について、当施設は標高1000mに位置している。その為、冬季の気温低下を考慮し埋設配管にて設置して[一般:規第4条の5の2 4号チ、産廃:規第12条の7の2 8号チ]

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

	地下水等		放流水
	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水	別紙平面図の通り
採取日	平成 28年 2月 17日	平成 28年 2月 17日	平成 28年 2月 17日
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水	別紙平面図の通り
分析結果が得られた日	平成 28年 3月 14日	平成 28年 3月 14日	平成 28年 3月 14日
分析結果	計量証明の添付	計量証明の添付	計量証明の添付
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	/
必要な処置を講じた年月日とその内容(異常が認められた場合記入すること)			